

**箕面市地域公共交通活性化協議会**  
**第4回 路線バス網再編検討分科会 会議録**

**1. 日 時**

平成31年3月18日（月） 午後3時00分～午後4時40分

**2. 場 所**

箕面市役所 本館2階 特別会議室

**3. 出席者**

**（副会長）**

- ・ 富山大学都市デザイン学部都市・交通デザイン学科准教授 猪井博登

**（委 員）**

- ・ 阪急電鉄株式会社交通プロジェクト推進部副部長 越智厚  
（代理出席）交通プロジェクト推進部交通まちづくり担当課長 岡田善光
- ・ 阪急バス株式会社自動車事業部副部長兼営業計画課長 野澤俊博
- ・ 大阪府池田土木事務所地域支援・企画課企画グループ長 北川信治  
（代理出席）企画課企画グループ副主査 眞崎身奈子
- ・ 大阪府箕面警察署交通課長 三谷剛史  
（代理出席）交通課交通規制係長 林浩一
- ・ 国土交通省近畿運輸局交通政策部交通企画課長 原辰幸（オブザーバー）
- ・ 箕面市みどりまちづくり部道路管理室長 波多野輝
- ・ 箕面市健康福祉部健康福祉政策室長 橋本実華
- ・ 箕面市地域創造部箕面営業室長 栗生勝成  
（代理出席）箕面営業室参事 村尾悠
- ・ 公募市民 中尾佳生

**（欠 席）**

- ・ 大阪大学大学院工学研究科教授 土井健司
- ・ 北大阪急行電鉄株式会社延伸事業部調査役 三神浩平
- ・ 大阪高速鉄道株式会社南伸準備室課長 岡本孝司
- ・ 近畿地方整備局大阪国道事務所高槻維持出張所出張所長 山本勇人
- ・ 公募市民 中西昭弘
- ・ 箕面市地域創造部副部長 岡本秀

以上、委員15名のうち9名出席、オブザーバー1名出席

**4. 議 題**

- (1) OD調査、利用者・市民アンケートの分析について
- (2) その他

## 5. 議事要旨

### (1) OD調査、利用者・市民アンケートの分析について

【検討内容は次のとおり。】

○各ゾーンからの意向を割合で見える場合、ゾーン内の人口やバスの利用者数にかけ算をして検討することになると思うが、検討にあたってゾーン内の人口を考慮する必要はあるのか。

→ゾーン設定にあたっては、駅勢圏や地形、アンケート結果等のステップで調整し、設定し、人口は考慮していない。しかし、結果的に、ゾーン内の人口にそれほど相違はないが、今後のバス路線再編の検討にあたっては、バスの利用者数や人口等を考慮し、需要予測を行っていく必要があると考えている。

○近年のバスの状況については、運転士不足が進んでおり、路線維持が難しい状況であり、利用意向のある路線に対して、新たに路線を設定すると、阪急バス管轄の全域の中で、どこかを廃止しなければならない、運行維持としては以前にも増して難しい状況になっている。

その状況の中で、再編路線を検討するにあたり、考慮すべき意向のラインを学術的に決めることは難しく、条件設定ラインとして、どこまで絞り込むかというところを議論する。

○市民アンケート結果における条件設定ラインの検討にあたっては、アンケートの設問中、バスの利用頻度や、北大阪急行線延伸後の路線バスの利用意向も考慮して検討すべき。

→頻度別の行き先や、現在路線バスを利用している人の行き先について、分析・クロス集計を進め、次回分科会で示す。

○アンケート結果について、意向を矢印で示しただけでは、イメージしにくいいため、具体的に路線に反映して示して欲しい。

→具体的な路線を示す前に、アンケートの結果としての意向をどのような形でとらえるかというところを議論いただき、その結果を受けて、具体的な路線への落とし込みを検討したいと考えている。

○パブリックコメントの内容は。

→条件設定ラインが決まれば、それを踏まえたアンケート集約結果をベースに作成した運行ルートの方向性について、パブリックコメントを実施したいと考えている。

アンケート集約結果が市民意向を踏まえたものになっているかをパブリックコメントで市民の皆さまに確認したいと考えている。

なお、パブリックコメントの内容は、今後の分科会でも議論いただきたいと考えている。

○条件設定ラインについて、市民アンケートと利用者アンケートの異なる結果をどのように取り扱うのか。

→市民アンケートと利用者アンケートの結果については、それぞれの条件設定ラインの検討結果を合わせて「アンケート集約結果」として整理したいと考えている。

市民アンケート結果と利用者アンケート結果では、役割が異なり、市民アンケート結果においては、路線バスを利用していない人の答えも含まれているので、「あったらいいな」いう希望回答も含まれると考えている。また、利用者アンケートでは、路線バスを利用されている方を対象にしており、利用者が実際に使われる意向が反映されている。この二つをどういう組み合わせでど

ちらかを重視するののかという点を含めて検討いただきたい。

- 利用者アンケート結果において、北大阪急行線延伸後、路線バスを利用しなくなる意向の扱いは。
  - 利用者アンケート結果としては、現在、路線バスを利用されており、北大阪急行線延伸後も路線バスを利用される方に絞り、路線バスを利用する意向の中での新駅を含む各駅への意向割合を集計している。路線バスを利用しなくなる方の意見は踏まえていないため、次回分科会で、路線バスを利用しなくなる人の集計を次回分科会に向けて検討する。

## (2) その他

【意見・質疑応答は次のとおり。】

- 特になし

以上